

2010 AUTOBACS SUPER GT 第1戦 SUZUKA GT 300km RACE

2010年3月20日(土)~3月21日(日)

決勝 レポート



場所: 鈴鹿サーキット / 天候: 曇り / 気温: 14°C / 観客動員数: 31,000 人

2010年 SUPER GT 第1戦の決勝(52LAPS)が行われる鈴鹿サーキットはこの日、風の強い寒い一日となった。シーズン初戦であるが昨日の不本意な予選結果終了後、チームはこの日の午前中のフリー走行の為に、深夜までその対応に全力を尽くした。

3月21日(日)

午前8時30分フリー走行スタート。昨晚降った雨の為、路面はハーフウェット。しかし雨は降っておらず刻々と乾く路面で非常にタイムは良い。やはりドライバーに頼る部分が多く、完全に乾いて来るとタイムが離れていく。

午後2時、雨がぱらつく中、レースはスタートした。各マシン、クリーンにスタートが切られた。19番グリッドスタートの#62 R&D SPORT LEGACY B4は、今回も山野が先発をつとめた。山野は無難なスタートを決め上位陣のデグナーカーブでのクラッシュもかわし13位でコントロールラインに戻ってくる。



レースは10周を経過した時点で、1コーナーでの500マシンの多重クラッシュによりセーフティカーが入り再スタートとなる。ポジションは1つ上がって12位になったが、ラップタイムは上がらない。



www.rdsport.net

25 周目、予定通りピットインこの時点でポジションは暫定 8 位まで上がっている。山野から佐々木にドライバー交代、タイヤ交換、給油を済ませピットアウト。27 周目、佐々木から無線で、「排気ガスで室内が臭い」との連絡。チームは緊急ピットインを指示し故障個所の対応をすることを決断。

故障個所は排気系のナットのゆるみによるガス漏れであることが分かり、ピット前で修復作業に入る。しかしメカニックの懸命の修復にもかかわらず 3 週のロスをしてピットアウト。その後、佐々木の追い上げも及ばず 13 位フィニッシュとなった。

なお、第 1 戦の優勝は #7 M7 MUTIARA MOTORS 雨宮 SGC 7であった。



■監督:本島 伸次 コメント



土曜の予選以降、出来る事は全てやりましたが、結果的にマシンの持っている性能を十分に引き出すことが出来ませんでした。マシントラブルにより順位を落としたのが残念です。当初の目標であった初戦10位以内完走が見えていたのですが……。ドライバーもメカニックもみんな頑張ってくれました。そして応援してくださった SUBARU ファンの皆様には本当に感謝しております。今年トップで走る LEGACY B4 を皆様に見て頂けるよう頑張りますので、ご声援のほど、宜しくお願い致します。

■ドライバー:山野 哲也 コメント



決勝はいいスタートが切れ、数々のコース上のクラッシュを回避しながら順位を上げることができました。その後フロントタイヤをいたわる走行に切り替えました。アンダーステア傾向でしたが、ステイント中はラップタイムを安定させることに集中しました。13位という順位はレガシィとしては過去最高位であり、今後役に立つデータを収集できたと思います。依然トップコンテNDERとしてのポテンシャルは足りていない状況ですが、チーム力をもってして一戦一戦レベルは上がっています。目標である表彰台登壇にむけ、ドライバーとして精一杯努力していきたいと思います。



■ドライバー:佐々木 孝太 コメント



まずは悔しい結果です。ただチームはシーズン前の少ない時間で生まれ変わったLEGACYB4を無事に完走させ、今後のデータをしっかり得ることができたと思います。

今後はこのデータを分析して次のレースに備えたいと思います。

決勝レースの詳細に関しては SUPER GTホームページ <http://supergt.net/jp/>

またSUBARUモータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2010年3月25日
SUBARU LEGACY B4
TEAM アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net